

コンクリート橋を施工

「BIGになる！」

高校の卒業アルバムへの寄せ書きに書いた言葉だ。人とは違う何かをしたい、面白いことがしたい、そして誰かの役に立ちたい。そんな私が選んだ道が「土木」の世界だ。そして今、コンクリート橋を施工する会社に勤務している。

凛としていきる

理系女性の挑戦

面白く、人の役に立つ仕事

入社した当初はとにかく必死で、無我夢中で仕事をしていた。自分がかまさまな立場（設計や施工管理業）

に携わった橋が完成し、開通して車や人が通るのを見るたびに、これほど面白い仕事はないと感じている。「土木は人を動かす」と言うがまさにその通りであり、責任重大である。だからこそ、面白い。



道橋

さして「橋」と聞いてどのようなか橋を想像するだろうか。瀬戸大橋のような大きな橋だろうか。通学路近くの人

に足を運んでみたところ、小学生が完成したばかりの橋の上から興味深そうに川を眺めていた光景は今でも忘れられない。私は小学生が車を気にせず、安心して渡れる橋を、安心して川を眺めることができる場所を提供するお手伝いができたのだと、誇らしく思った。これからの私たちの重大任務は今まで造ってきた橋梁のメンテナンスだ。多くの人を上げるために造ってきた橋を守らなければならない。「つくる。まもる。つなぐ。」がキーワードだ。「BIG」にはなれないかもしれないが、「BIG」な物を造り、守る仕事をしている。希望通り面白く、そして人の役に立つ仕事だ。これからもまい進していきたい。

企画協力・日本女性技術者フォーラム(JWF)

(火曜日に掲載)

▽ 日本ピーエス

名古屋支店技術
施工課課長代理

青木 治子



△ フロフィール 00年
名古屋工大社会開発工
学科卒、同年日本ピー
エス入社。